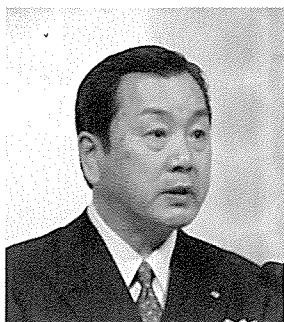


一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

平成29年 新年交礼会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 平成29年 新年交礼会が、1月10日（火）午後5時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（名古屋市中区）にて会員等430名が出席して盛大に開催されました。来賓として参議院議員、愛知県知事、環境省中部地方環境事務所、愛知県、名古屋市、豊橋市、関係諸団体の役員の方々が多数ご出席されました。



新年の挨拶を述べる永井会長

新年交礼会は、小島 晃副会長の開会の辞で始まり、年頭の挨拶で永井良一会長は「新年明けましておめでとうございます。昨年を振り返ってみますと、平成28年1月に食品廃棄物の横流しにより社会問題化したダイコー株式会社の不適正処理事案が判明し、協会として二度とこのような事態を生じさせないよう厳格な対応を図って参りました。現在ダイコー株式会社にある廃棄物について、会員の皆様のボランティアにより固形状の廃棄物は、昨年末までに処理は終わりました。しかしドラム缶に入った液状物がまだ100トンほどあり、愛知県から昨年末に当液状物に対して協力依頼がありました。現在ご協力いただけるバキューム車が不足しております。本日ご出席の皆様で、バキューム車をお持ちの会員様がいらっしゃいましたら、是非事務局まで申し出をお願い

いたします。協会としては、最後まで責任を持って愛知県に協力して参りたいと思いますので、お忙しいとは存じますがよろしくお願い申し上げます。さて、平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震では195万トンほどの災害廃棄物が発生し、約9か月が経過した現在においてもそのまま残されております。この地方に目を向けますと南海トラフを震源とする巨大地震が懸念され、災害廃棄物は最大で約3億5千万トンと推定されております。当協会では、災害廃棄物対策に関する特別委員会を中心として業務継続計画（BCP）を策定し、万全な備えとなるよう取組を進めております。会員の皆様にはご苦勞をおかけしますが、積極的なご支援ご協力をお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。」と今年にかける思いを述べました。

続いて来賓で出席された愛知県知事 大村秀章氏より「皆様新年明けましておめでとうございます。



新年の挨拶を述べる
大村愛知県知事

日頃の皆様方のお力によりまして、愛知の産業経済、市民生活が成り立っております。ゆとりのある市民生活と力強い産業活動を支えていただいております皆様方に心から敬意と感謝を申し上げます。さて、昨年

の1月、降って湧いたようにCoco壺のビーフカツの横流し問題から、ダイコーの不適正処理が発覚し、廃棄物行政と商品流通の信頼性が問われる大変大きな問題となりました。残された9千㎡の廃棄物をどうするかということで、6月の頭に苦渋の決断でしたが、事務管理として愛知県が処理していくことになり、永井会長はじめ協会の皆様方にお骨折りいただきご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。現在8割以上は処理しましたが、まだドラム缶に入った液状物の処理については、協会の皆様にご協力をお願いしたいと思っております。一方、昨年は12月にリニア中央新幹線名古屋駅地下駅の着工、MRJの本格試験飛行、ロケットも打ち上がり、2020年10月にロボットのオリンピック、ワールドロボットサミットが愛知県で開催されることが決定されました。また、自動車の自動走行も着実に進んでおり、愛知の産業は今年もしっかりと回っていく一年になろうかと思えます。産業活動が回っていくためには、リサイクルをしていく、循環していく産業、静脈産業が是非必要です。そういった面では、本当に皆様にはお世話



になっております。今年の干支の酉のように、大鳥が羽ばたくような飛躍の年でありますようお願いいたします。」と新春にふさわしい話題の挨拶がありました。

引き続き来賓の挨拶として、環境省中部地方環境事務所所長 三村起一氏より「皆様新年あけましておめでとうございます。環境省中部地方環境事務所の三村と申します。このような高い席ではなはだ恐縮しておりますが、ご指名でございますので一言ご挨拶を申し上げます。愛知県産業廃棄物協会の皆様には、常日頃より産業廃棄物の適正処理の徹底や、再生利用の推進につきまして、また、不法投棄監視パトロールの実施や撤去作業、マニフェストの普及等に取り組んでいただきまして、まずこの場をお借りしまして感謝申し上げます。また、国指定鳥獣保護区であります藤前干潟の不法投棄ごみ撤去活動におきましても、大変多くの方にご参加いただき、運搬車両など必要な機材につきましても、ご提供いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また先程来話題に出ておりますが、昨年1月には県内の産業廃棄物処理事業者による、食品製造業者等

〈平成29年 新年交礼会ご来賓〉（順不同・敬称略）

愛知県知事	大村 秀章	一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長	粥川 長司
自由民主党参議院議員	酒井 庸行	一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 専務理事	伊藤 誠紀
自由民主党片山さつき参議院議員 秘書	野尻 護	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 会長	鈴木 洋佑
愛知県議会議員	直江 弘文	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 専務理事	秋田 勝
環境省中部地方環境事務所 所長	三村 起一	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長	木村 亮一
環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 課長	水原 健介	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 専務理事	筒井 照雄
環境省中部地方環境事務所 廃棄物対策等 調査官	板倉 克宏	一般社団法人 愛知県建設業協会 事務局長	大西 克義
愛知県環境部長	菅沼 綾子	一般社団法人 愛知県建設業協会 上席	太田 聖二
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長	田口 則雄	一般社団法人 中部経済連合会 産業振興部長	祖山 薫
豊橋市環境部廃棄物対策課 課長	清原 陽介	愛知県中小企業団体中央会 振興部長	太箸 俊一
豊橋市環境部廃棄物対策課 課長補佐	佐藤 実	愛知県衛生事業協同組合 理事長	永田 喜裕
公益財団法人 愛知臨海環境整備センター 専務理事	伊藤 和己	愛知県衛生事業協同組合 事務局長	伊藤 勝至
公益財団法人 愛知臨海環境整備センター 常務理事	原田 弥生	名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長	新美 三良
		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長	吉田 隆

から処理委託を受けた食品廃棄物が食品として売却されるという事案がありました。様々な取組がなされたことに感謝申し上げます。環境省としましては、当該事業者が食品リサイクル法に基づく登録再生利用事業者であることから、再発防



新年の挨拶を述べる環境省
中部地方環境事務所 三村所長

止に向けて食品廃棄物の転売防止策の強化に努めております。皆様方におかれましても、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、皆様ご存じの通り地球温暖化対策の新しい国際ルール、パリ協定が昨年11月4日に発効されました。大方の予想を大きく上回り、このパリ協定の合意から、わずか11か月で発効したということは、この気候変動のリスクがもはや世界の共通の課題として認識されたということになります。私たち日本はCO₂の排出が世界第5位の主要排出国です。国際社会の地位にふさわしく振る舞い、世界に約束した2030年に2013年度比で温室効果ガスを26%削減するという目標を達成し、世界の温暖化対策を牽引・貢献していくような積極的な取組を率先して展開していく必要があります。また、愛知県内では幸いなことに（まだ大きな被害を受けておりませんが）、ということになりますけれども、いまや地球温暖化の影響とされています、過去に例を見ないような台風や集中豪雨による水害などが、いつ発生してもおかしくなという状況にあると言われております。また、昨年の4月に発生した、熊本地震は記憶に新しいところですが、南海トラフ巨大地震などの大規模地震や津波に対しての備えについても広域的な連携体制の構築を進めてしていく必要があります。こうしたことから、私ども中部地方環境事務所が事務局となりまして、中部ブロックの県、主要な市、また各県の産廃協会さん等から構成される、大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会を設置させていただきました。昨年度はこの協議会におきまして、災害廃棄物に関する広域連携計画について、発災直後から応急対策時までの部分を作成しました。本年度は災害復旧時から対応完了後までの

全体図の完成までを予定しております。皆様方におかれましても引き続き積極的な参画をお願いしたいと思います。最後になりますけれども、愛知県産業廃棄物協会の益々のご発展と本日お集まりの皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。はなはだ簡単ではございますが、わたしの挨拶とさせていただきます。」と挨拶がありました。

次に、当日欠席された自由民主党参議院議員産業・資源循環議員連盟事務総長 片山さつき氏からのメッセージが、司会者により代読されました。メッセージは、参議院選挙当選のお礼、適正処理の順守が、環境を守り日本の産業を支えていることに対して敬意と感謝のことば、産廃業界からの要望である法改正について期待に応える強い気持ちが述べられました。その後、来賓としてご列席された方々のご紹介がありました。

乾杯の音頭は愛知県議会議員 直江弘文氏からいただき、新年の挨拶と日頃の業務に対して感謝のことばを述べられ、乾杯の発声をされました。

会食が進む中、自由民主党参議院議員 酒井庸行氏が到着され新年の挨拶と協会及び会員の方へ期待のことばが述べられました。

新春懇親会のアトラクションとして、三味線とピアノの和洋融合ユニット 陽影月-HIKAGETSU-の演奏が始まりました。三味線という和の楽器が、洋のピアノと相まって力強いサウンドとなり、会場中に響き渡りました。陽影月のオフィシャルブログでは、愛産協の新年交礼会の演奏についてコメントがあり、金屏風の前で演奏している画像が投稿されていました。閉会の辞は、平沼辰雄副会長による中締めで新年交礼会はお開きとなりました。



直江愛知県議会議員の発声で乾杯が行われました。